

## 小手指ヶ原古戦場跡(所沢市)

ここに「小手指ヶ原古戦場」の碑が立っている/説明板もある







## 埼玉県指定文化財（旧跡）

### こてさしがはらこせんじょう 小手指ヶ原古戦場

小手指ヶ原は、鎌倉時代末期から南北朝時代にかけてしばしば合戦が展開されたところです。当時は一面の原野で、北方は入曾（狭山市）から藤沢（入間市）あたりまでがその範囲に含まれていました。背後には、狭山丘陵があり、また鎌倉街道の沿線にも位置していたため、古来戦場となることが多かったのです。

特に歴史的な合戦のひとつとして、元弘三年（一三三三）上野国新田庄（現在の群馬県太田市）を本拠地とする新田義貞の鎌倉攻めがあります。同年五月八日義貞は、北条氏の支配する鎌倉幕府を倒すため新田庄で兵を挙げます。利根川を渡り、鎌倉街道を一路南下した新田軍は十一日に、ここ小手指の地に至ります。太平記によると、はじめは百五十騎ほどであった一行は、進むにつれ沿道の武士を加え、最後には二十万騎にも及んだと記されています。

新田義貞の軍勢とそれを迎え撃つ鎌倉幕府軍は、緒戦となった小手指ヶ原で三十余回も打ち合いますが、勝敗はつかず、新田軍は入間川（狭山市）に、幕府軍は久米川（東京都東村山市）にそれぞれ引きました。翌十二日新田軍は幕府軍に押し寄せ、幕府軍は分倍河原（東京都府中市）まで退きます。その後、幕府軍は援軍を得て一旦は立て直すものの、結局二十一日には鎌倉極楽寺坂への新田軍の進軍を許し、五月二十二日幕府軍の北条高時らが鎌倉東勝寺で自害し、鎌倉幕府は滅亡するに至りました。

なお、背後にある小高い塚は白旗塚と呼ばれ、源氏の末裔である新田義貞が、ここに陣を張り、源氏の旗印とされる白旗を立てたという伝承があります。

平成二十二年三月



所沢市教育委員会

白旗塚についても記されている



その碑から西方向を見たところ





そこを進むと、前方右手が白旗塚と呼ばれる小高い塚





左手の標柱には「白旗塚土盛修復記念碑」とある/右手は「古戦場碑」









塚の頂上の白旗塚の碑と浅間神社石祠





そこから南方向を見たところ





畑地となった武蔵野の風景/この辺り一帯が古戦場跡であろうか





参考ホームページ

<http://23.pro.tok2.com/~freehand2/rekishi/kotesashi-kassen.html>

<http://ckk12850.exblog.jp/3666044>

<http://muiantaroh.cocolog-nifty.com/blog/2014/03/2014-ac2a.html>

<http://blogs.yahoo.co.jp/gahoh007/7267836.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~ab9t-ymh/kakuchi/tokorozawa01/kotesashi.html>

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/hist/s2/kotesasi.htm>



